PART4　なむの識別（応用編）

★注意すべき「なむ」

○「未然形」と「連用形」が同じ形の場合→**文脈判断**

まず「　　　　」と訳してみる。

○→他者願望の終助詞

×→完了の助動詞＋推量の助動詞

※ただし、「　　　　」にあれば「完了の助動詞＋推量の助動詞」である。

○「しなむ」の場合

「し」が「　　　」と訳せる＝サ変「す」連用形→「　　　　　　」

「し」が「　　　」の意味→ナ変動詞未然形の活用語尾＋推量

○「連用形＋なむ」が「係助詞」である場合

連用形 ～～～ ＋ **なむ** ＝ **係助詞**

○「てなむ」＝**接続助詞**「て」＋**係助詞**「なむ」

〈Memo〉

第16講　PART4　確認問題

①「～よきは短くてあらなん。」の二重傍線部「なん」の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　詠嘆の終助詞　　イ　ナ変動詞＋推量の助動詞　　ウ　他者願望の終助詞
エ　強意の係助詞　　オ　強意の助動詞＋推量の助動詞

②「願はくは花の下にて春死なむそのきさらぎの望月（もちづき）のころ」の傍線部について文法的説明が同じになるものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　いつしか梅咲かなむ、…
イ　もと光る竹なむ一筋ありける。
ウ　早く去（い）なむとて、…
エ　いみじく長くなりなむ。

③「小倉山峰のもみぢ葉心あらば今ひとたびのみゆき待たなむ」の傍線部について、現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　待っていてほしい
イ　きっと待つだろう
ウ　待っているだろうなあ
エ　決して待つことはできない

④「その的射なむと思ふ。」の傍線部について、文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　詠嘆の終助詞　　イ　ナ変動詞＋推量の助動詞　　ウ　他者願望の終助詞
エ　強意の係助詞　　オ　強意の助動詞＋推量の助動詞

⑤傍線部「なむ」について、係助詞「なむ」であるものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　憂はしく思ひ給へてなむ、…
イ　舟に乗りなむ。
ウ　峯(みね)もたひらになりななむ、…
エ　四十に足らぬほどにて死なむこそ、…

第16講　PART4　確認問題　解答

〔解説〕

① ラ変「あり」の未然形＋なむ＝他者願望の終助詞「なむ」。よって、ウが正解。

② 問の「なむ」は、ナ変「死ぬ」の未然形の活用語尾＋推量の助動詞「む」。アは終助詞、イは係助詞、エは強意の助動詞「ぬ」の未然形＋推量の助動詞「む」、ウはナ変「去ぬ」の未然形の活用語尾＋推量の助動詞「む」。よって、ウが正解。

③ タ行四段活用動詞「待つ」の未然形＋なむ＝他者願望の終助詞「なむ」。よって、アが正解。

④ ヤ行上一段動詞「射る」は、未然形と連用形が同じである。「と思ふ」と続くことから、「なむ」で一度文が終わっている。文末に用いるのは、他者願望の終助詞「なむ」。よって、ウが正解。

⑤「てなむ」＝接続助詞「て」＋係助詞「なむ」。よって、アが正解。

〔解答〕

① ウ　② ウ　③ ア　④ ウ　⑤ ア